

女の子に必要な支援について考えるシンポジウム

入場無料

定員 200 名（先着順）

災害と女の子

ガールズが直面する二重の危機

2016 年
9 月 22 日 木祝 受付 12:30 ~
13:00 ~ 15:30

会場／くまもと県民交流館パレアホール

一見、手がかからず、支援の対象になりにくい思春期の女の子たち。社会的・精神的・性的に大人と子どもの狭間にある「女の子」は、就労・社会的格差だけでなく、常に性被害や性犯罪の誘惑や危険にもさらされています。

災害で、さらに不安定な状況におかれた熊本の女の子たちに、今、そしてこれからどんな支援が必要なのか。東北の女の子たちの経験をふまえ、一緒に考えてみませんか



第 1 部・基調講演

【なぜ今、女の子支援なのか ～国際的な経験・教訓から～】

講師 大崎麻子氏

国際協力・ジェンダー専門家、Gender Action Platform アドボカシー担当、公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン 理事。関西学院大学総合政策学部客員教授。コロンビア大学大学院在学中に長男を出産。国連開発計画 (UNDP) に就職し、途上国の女性支援に従事した。在職中に長女を出産し、子連れ出張も経験。現在はフリーの専門家として国際協力や東北の復興支援に従事している。サンデーモーニング (TBS 系) のコメンテーターとしても活躍中。著書に『女の子の幸福論 もっと輝く、明日からの生き方』

第 2 部・パネルディスカッション

【女の子たちの声が新しい社会を創る】



園田理美氏



佐藤若菜氏

パネリスト 大崎麻子氏 (公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン 理事)
園田理美氏 (弁護士)
佐藤若菜氏 (福島／女子の暮らしの研究所 研究員)
津曲結子氏、藤原みのり氏 (九州看護福祉大学ピア・カウンセリングサークル 部員)
コーディネーター 伊井純子氏 (フリーアナウンサー)

助けてなんて言えない。

知らない男の人に
じろじろ見られた。

Line でしつこく誘われる。

痴漢にあった。
誰に相談したらいいのかわからない
私が悪いのかも…。

みんなは楽しそう…。

彼の言うことは断れない。

話を聞いてくれる人についていってしまう。

必要とされていないと感じる。

申し込み
問い合わせ

熊本市男女共同参画センターはあもにい <http://www.harmony-mimosa.org>
☎ 096 (345) 2550 FAX 096 (345) 0373 ※裏面をご利用ください

※託児あり。1 歳半～未就学のお子さんをおあずかりします。定員あり。申込締切 9 月 12 日
おやつ代 100 円要。託児をご利用の方は電話でお申し込みください

主催／熊本市男女共同参画センターはあもにい 共催／公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
後援／熊本県教育委員会、熊本市教育委員会 協力／特定非営利活動法人全国女性会館協議会、熊本県
このシンポジウムには、全国女性会館協議会を通じて会員館から寄せられた支援金を活用しています

	性別	年齢
参加者氏名（代表者）		
参加者氏名（2）		
参加者氏名（3）		
代表の方の 連絡先電話番号		
代表の方の所属先（職場・学校名）		
当講座に期待することや要望、質問など ご自由にご記入ください		

災害と女の子 ガールズが直面する二重の危機 登壇者PROFILE



大崎麻子氏

関西学院大学総合政策学部客員教授、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン理事、NPO 法人 Gender Action Platform 理事。内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員。上智大学を卒業後、米国コロンビア大学で国際関係修士号取得。国連開発計画 NY 本部開発政策局にて、ジェンダーと女性のエンパワーメントを担当。貧困削減、民主的ガバナンス、紛争・災害復興等でジェンダー視点を主流化させるために政策立案、制度及び能力構築に従事。退職・帰国後はフリーの開発政策・ジェンダー専門家として政府関係機関、援助機関、国際機関、NGO、研究機関等で幅広く活動中。



佐藤若菜氏

女子の暮らしの研究所・研究員。1994 年福島県郡山市生まれ。新潟大学教育学部 4 年生。高校 1 年生の 3 月、郡山市で被災。放射線の影響に対する不安もあったが、家族や友達に話すことはできずにいた。そんな中、18 歳以上ママ未満の女の子が“研究員”として「暮らし」の見直しをテーマにした情報発信活動を行う「女子の暮らしの研究所」の研究員となる。ラジオ番組や広島遠征などを通して、他の研究員と気持ちの共有や意見交換をし、本音の言える場の重要性を知る。



園田理美氏

弁護士。
2009 年 3 月熊本大学法学部卒業
2012 年 3 月熊本大学法科大学院卒業
2013 年弁護士登録
大学在学中に少年友の会学生ボランティアとして活動。現在も、少年友の会の会員を継続。非行少年とともに清掃活動等に励む。弁護士会では、両性の平等に関する委員会、子どもの人権委員会に所属し、少年問題や女性問題に取り組んでいる。

九州看護福祉大学
ピア・カウンセリングサークル



2002 年に結成。子どもや若者、大人など、誰もが、年齢や社会的地位に関わらず自然に、一緒にいられることを目的とした場所「イコイバ」（玉名市）で、お互いの話をしたり、時には楽しいゲームをしたりして活動中。有明地域の高校生と共に学びを深める「ティーンエイジャーの集い」や、セクシャルマイノリティについて知る「セクシャルスタディーズ」、みんなで楽しむことを目的とした「クリスマス会」など、さまざまな活動を行っている。

※このシンポジウムには、全国女性会館協議会を通じて会員館から寄せられた支援金を活用しています

熊本市男女共同参画センターはあもにい
熊本市中央区黒髪 3 丁目 3-10 ☎096-345-2550
<http://www.harmony-mimoza.org>



熊本市中央区手取本町 8-9 10F